

議会  
だより

# 第3回下條村議会定例会 健全財政を維持 平成24年度決算を認定

会期 9月17日から  
9月26日まで

平成25年第3回下條村議会定例会は、9月17日に召集され26日までの10日間の会期で行われました。一般質問と、報告1件、条例1件、決算5件、補正予算2件、陳情1件、意見書1件が提出れ、審議の結果9件が可決されました。

### ▼二十四年度決算を認定

二十四年度の決算認定は、十七日に提案されて二十六日に審議が行われ、一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・村営水道）の五会計が認定されました。（詳細は二・三面）

### ▼一般質問は四氏より

初日に行われた一般質問は、次のとおりです。

- 防災体制の強化と消防団の組織について
- 下條村商品券の効果と今後の拡充について

● リニア中央新幹線の開通に伴う地域づくりの具体的な姿について  
小池 昌人

● 防災訓練について  
金田 憲治

● 介護保険利用料の軽減策拡充について  
金田 憲治

● 風疹ワクチン接種補助について  
串原 寛治

● リニア中央新幹線のトンネル掘削に伴う残土活用について  
熊谷 政孝

（二 般質問の様子は、議会当日ケーブルテレビで中継放送し、後日録画放送もしました。下條村のホームページの中でもご覧になれます）

### ▼報告

● 平成二十四年度下條村財政健全化判断比率等の報告について  
平成二十四年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率等の報告。実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字となっており、実質公債費比率はマイナス4.5で、将来負担比率もマイナスであり、財政状況は非常に安定している旨の報告。

● 一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について  
国家公務員は震災復興財源確保のため平成二十四年四月から二十六年三月までの二ヶ年、平均七・八%の給与削減に取り組んでいる。このため「日本再生」に向けて、国と地方が一丸となつて努力を集結必要があるとの趣旨から、平成二十五年度に限り緊急対策として地方公務員の給与削減の要請が総務大臣より本年一月にありました。郡下の町村でも実施していることも考慮し、この十月から本年度に限つて特例措置として、国家公務員の減額後給与を百としたときの水準（ラスパイレズ指数）が、当村では百二・一となることから一般職の給与を二・一%減額す

るための条例制定をする案が可決されました。

### ▼補正予算

● 一般会計（第二号）  
一千六百五十万円増額

歳入の主なものは、地方交付税、県支出金の農林水産業費、県補助金、災害復旧県補助金、寄付金は、子育て支援に対する寄付金、諸収入の雑入では、再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金、村債では災害復旧事業債、臨時財政対策債として借入可能算定結果による減額、緊急防災事業債などで、歳入の主なものは全体を通して人件費の削減、総務費では一般管理費の委託料でコンピュータサーバー機の無停電装置改修やウイルス対策ソフト更新、ケーブルテレビの運営費の需用費では音声告知端末機等の購入、民生費では、いきいきらんのプールの窓枠、屋根等の修理費、保育所の印刷輪転機の購入、農林水産業費はソバコンバイン修繕費、凍霜害防止資材費補助金、農地費はため池3ヶ所点検委託料、商工費は、そばの城の厨房コールドテーブル購入費、土木費は耐震診断委託料、住宅退去に伴う施設修繕、メゾンコスモスの雨水排水路工

事、親水公園の石積崩落による石積除去と丸太柵工費用、消防費では消火栓布設替え、教育費は図書館総合管理システム更新、学校給食の冷凍冷蔵庫の更新費用などで、総額十九億四千四百五十万円となりました。

● 介護保険特別会計（第一号）  
五百万円の増額

歳入の主なものは二十四年繰越金で歳入の主なものは繰越金等に伴う調整のための予備費、介護給付費等の精算支払いのための償還金、二十四年度介護給付費支払基金交付金等の実績確定に伴う償還金などで、総額四億二千万円となりました。

### ▼陳情

● 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について  
採択

### ▼意見書

二件の意見書が提出され、採択されました。

● 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

● 道州制導入に断固反対する意見書